

特集

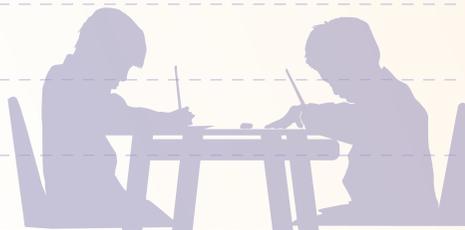
「統一合判」

中学入試レポート vol. **4**

これが合格への カギになる！

2019年入試の変化のもとで、 チャンスを生かす受験校の選び方

夏休みを終えて9月以降、6年生が本格的な入試対策に取り組み始めてから、すでにひと月半。来年2月の入試本番まで残り3カ月半となった。保護者の皆さんも、いよいよ併願校を含めて、受験校を決めていく時期にさしかかっている。年ごとに多くなる入試要項変更によって、“激動”が恒常化してきた中学入試だが、来春2019年入試はどうなるのか。目立った動きを確かめてみるとともに、そこで生まれるチャンスを生かす、受験校の選び方を探ってみよう。



首都圏模試センター

大学入試と日本の教育が変わる節目に 私立中学校の入試が多様化！

毎年、多くの入試改革が行われることで目まぐるしく人気動向が変わってくる首都圏中学入試。例年、入試の直後から、次年度に向けての入試変更が次々と公表され、それぞれの学校の志望者数や難易度の変化、全体的な人気動向の変化などが、翌年の入試に関する話題となっていく。

そういう意味で、今春2018年入試の結果やその前後の目立った動向から、来春2019年の首都

圏中学入試の行方を占うとすれば、やはり注目すべきは「私立中入試の多様化」だ。

2年後の「2020年大学入試改革」を境に、大学入試が変わり、その先の社会で求められる力を育てるために、日本の教育全体が変わろうとしている。そのなかで、私立中高一貫校はいま、「21世紀型教育」に象徴される“最先端”の教育を導入し、あらためて公立学校の教育をリードする存在であろうとしている。

そのための新たな、中学入試における「アドミッション・ポリシー」を反映したものが、いま各校で

激動の2019年入試で“合格”を得るために、模試を上手に利用しよう！ ～「継続して受ける」ことで学力を育て、自信をつけることができる！～

首都圏模試センターの「小6統一合判」テストも、この10月8日で第4回を迎えた。6年生では12月までに残り2回、計6回の模試が行われるが、この機会を十分に活用して、来春2019年入試での“合格”のステップにしていきたい。こうした模試の上手な利用法は、何より「継続して受ける」ことだ。

それによって、

- ①毎回の成績の推移と、受験生のなかでの自分の位置を知り、受験勉強の成果（手ごたえ）を確かめることができる。
- ②志望校の最新の入試情報と人気動向を知り、ベストの受験（併願）作戦を組み立てていくことができる。
- ③毎回のテストで力試しができると同時に、中学入試の“合格”に直結する実戦的な学力を育てることができる。

といった、いくつものメリットが得られる。そのためにも、毎回のテストでは、成績表や結果判定などのアウトプット資料をよく確かめ、試験問題や答案には何度も目を通して、しっかりと「おさらい」しておく必要がある。

また、最近の小学生の皆さんは、まだまだこういった長時間のテストを緊張感のある状態で受けることに慣れていない。これまでもお通いの塾での内部テストは何度も受けてきたと思うが、会場が変わって、周囲に初めて顔をあわせる子どもたちがいるなかでの（＝入試本番のような）テストには、また違った緊張感がある。こうした雰囲気でするだけ早く慣れて、入試の本番でも感じるような、この緊張感



前回9月9日（日）に行われた「統一判模試」東海大相模中会場での学校説明会では、国内屈指の総合大学の付属校としての教育展開の魅力を聞くことができました！

も味方につけて、十分に力を発揮できるようになっておきたい。

保護者の皆さんは、毎回の成績や志望校判定に一喜一憂するのではなく、客観的に結果を受け止め、それをプラスに生かすための工夫をしてほしい。どのような結果（成績）であったとしても、その都度お子さんを励まし、学力的に成長するための材料にすることを心がけていただきたいのだ。

また、テスト会場での説明会など、最新の入試情報が聴ける機会には、必ず参加して説明を聴いておくべきだろう。

こうして親子で上手に模試を利用することができれば、継続して受けることがやがてお子さんの自信にもつながり、来たる2019年入試での“合格”への、力強いステップになるに違いない。



模試を受けることで、第一志望への課題と、ベストの併願作戦を組み立てるヒントを探ろう！

～「継続して受ける」ことで、合格へのチャンスが見えてくる！～

来春の中学入試に挑む6年生が、模試を受けることで得られるメリットは、前のページのコラムで述べた通りだ。さらにこれを、親の立場で生かすべきことにしぼって、以下にポイントをまとめてみよう。

●第1志望校との距離を測り、課題を見つける

毎回の合格判定の結果や成績をもとに、お子さんの第1志望校の合格の目安（＝入試予想難度）と、現時点での成績とを考え合わせて、その学校への合格可能性や、そこまでの距離を測り、残された時間で何を重要課題として、親子それぞれが何をすべきかを検討する。

同時に、11月以降の模試の結果が出る頃には「受験する学校を確定する」気持ちで、併願校選びのための情報収集や検討を進めておく。

●豊富な経験を生かしたアドバイスを聞く

毎回の模試の会場では、入試に関するアドバイスを伝える保護者向けの説明会（講演）が行われていることが多い。そこでは、中学入試に関する豊富な知識と、長く受験指導に関わってきた経験・事例をもつ講演者から、入試本番に向けての準備や、入試に挑むうえで役に立つ話を聞くことができる。

また、単なる情報だけではなく、わが子のサポートをするうえでの迷いや悩みをもつ保護者を励まし、力づけてくれるような話も聞ける。そうした機会には、積極的に足を運んで、入試に立ち向かう勇気や元気をもらうことができるといいだろう。

●志望動向の変化による予想・分析を生かす

毎回の合格判定では、その月の志望動向（志望者数や成績分布）などをもとに、入試予想が立てられ、それが翌月の合格判定に生かされる。

そうした志望者数の数字やデータは、個々の成績表（アウトプット）にも反映される。それぞれの志望校の動向は、個々の成績表を見ることでわかるが、もうひとつ、全体状況のなかで、それぞれの動向がどうなっていくかという予測・分析については、やはり専門家の意見を聞いたり、配布された詳細な資料を見ることが必要になる。それまでは気がつかなかった視点や、見落とししていた情報を提供してくれることも多いはず。

この時期までに、おそらくほとんどの家庭では、



模試を受けるメリットは、多くの受験生のなかでの相対的な位置を知り、自分の目標への距離と課題を確かめることができることだ。

わが子の第1志望校、第2志望校については、詳細な情報を集めて、その学校についての理解を深めることだろう。しかし、第3志望以下の併願校については、まだ十分な情報収集ができていないのではないだろうか。

そうした併願校選びに際しては、これまで持っていた知識や視点だけではなく、新たな知識や視点に気づかせてくれる専門家の意見が役に立つことが多い。たとえば、それまではわが子が午後入試を受験させることを考えていなかった保護者が、模試でのアドバイスを聞いたことによって、そのメリットや意味を知って、午後入試も併願に加えたことで、入試後になってみると「午後を受けておいてよかった…」と思えることも多い。

●併願校を選ぶ多様な視点と最新情報を生かす

上に述べたことは、入試状況を知るためだけではなく、それぞれの学校を、もっとよく知るためにも大切な。

とくに併願校を選んでいく際には、ややもすると、古い情報や評判にとらわれて、選択の幅が狭くなりがちなこと事実。数年前までは、まだ成果の出ていなかった私学が、急速な変化・発展を遂げて、最近になって目覚ましい成果や実績を上げ、今後が大いに期待できる学校になっているケースも多い。

最新の学校情報によって、そうしたことに気づかせてくれるのも、模試を受けることで得られる大きなメリットといえるだろう。その意味では、会場での保護者向けの説明会（講演）や配布資料に、しっかりと耳を傾け、目を通していただくことが望ましいと強調しておきたい。

導入～新設されつつある「新タイプ入試」だと考えてよい。

新たな大学入試の出題に近いともいえる公立中高一貫校の「適性検査」に対応し、公立中高一貫校の志望者にとって受験しやすい「適性検査型入試」をはじめ、「総合型入試」、「合科型入試」、「論述型入試」「PISA型入試」など様々な名称と形式で、多くの私立中学校が、幅広く小学生に門戸を開いた。大学入試改革を早くもリードするような「思考力入試」の導入校も急速に増えている。

すでに今春2018年入試では、136校もの私立中学校が、こうした「適性検査型（思考力型・総合型・PISA型）入試」を実施し、来春2019年入試では、これを大きく上回る140～150校がこうした入試を導入すると見られる。

このほか、「英語（選択）入試」も今春2018年には112校で実施され、やはり来春2019年入試ではそれを20校ほど上回る「120～130校」が実施すると予想されている。

今春2018年入試の時期には、新聞、TVなど多くのマスコミが一斉に「私立中入試の多様化」にスポットをあて、今後の大学入試で問われる「思

考力」「判断力」「表現力」と「英語力」を問うアドミッション・ポリシーが、私立中入試にも反映されているという切り口で記事や番組報道をした。

そうしたマスコミ報道が多出したことの影響には、「2020年大学入試改革」や、文科省が推進する「アクティブラーニング導入」に象徴される日本の教育の変化に対して、小学校の保護者世代が敏感に反応している状況がある。それを契機に「中学入試が変わり始めた」ことが注目されたといえるだろう。

**変わる大学入試、5年目の当事者に
あたる現小6生の保護者の意識変化**

しかし実際のところ、この1～2年でそうした新たな形態の入試を導入する私立中が続出しているとはいえ、現在も中学入試の主軸は、依然として「4科目（国・算・社・理）」か「2科目（国・算）」であることに変わりはない。先に述べた「私立中入試の多様化＝新たな形態の入試」は、すでに首都圏の私立中の過半数で実施されているとはいうものの、募集定員に占める比率では、私立中学校のトータルな入試回数のうち、まだ一部で導入されているに過ぎないことも事実だ。

それでも、こうした私立中学入試の新たな動きに対して、決して少なくない数の受験生と保護者が呼応し、それらの新たな入試形態が徐々に広く認知され、歓迎され始めた。

そうした「私立中入試の多様化」は、小学生と保護者から見れば「中学入試の間口が広がった」ということであり、多様な受験準備のスタイルを経てきた子どもたちが潜在的に持つ、多彩な能力や意欲、資質を評価し、私立中高一貫校の教育に「迎え入れて」くれようとするものであ

首都圏模試センターの「統一合判模試」の成績表にも「思考コード」の分類による「立体偏差値」が反映されている。





特集 **これが合格へのカギになる！** 2018年入試の変化のもとで、チャンスを生かす受験校の選び方

ることは間違いない。

こうした新たな入試が、子どもたちの多彩な才能や資質、将来伸びる可能性を見出し、そこに光を当ててくれるものであるならば、それは歓迎されるべきものだろう。

それは、2年後の2020年から「大学入試が変わり」、「日本の教育が変わる」節目を前に、早くもその方向性を先取りした私立中高一貫校の先見性によって「中学入試も変わる」という、大きなムーブメントの兆しでもある。

その意味でも、来春2019年入試に向けて、さらに「私立中入試の多様化」が進むという動きについては、従来の「4科目」「2科目」入試の難関校を志望する受験生と保護者も、やはり意識しておくべきだろう。

2025年に大学受験を迎える現在の小6のお子さんたちが、2020年以降の「新たな大学入試」の本格的な当事者になることは間違いない。だからこそ「中学～高校の6年間でどのような教

思考コードとは？

| | | | | | | | | |
|------|------|------|----------------------------------|----|----------------------------------|-------|----------------------------------|-------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | 配点 満点 18 得点 6 正答率 33.3 | A3 | 配点 満点 7 得点 7 正答率 100 | B3 | 配点 満点 7 得点 7 正答率 100 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリ | 複雑 2 | 配点 満点 40 得点 22 正答率 55.0 | 35 | 配点 満点 7 得点 7 正答率 100 | 68 | 配点 満点 7 得点 7 正答率 100 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | 配点 満点 40 得点 22 正答率 55.0 | 49 | 配点 満点 85 得点 25 正答率 29.4 | 48 | 配点 満点 85 得点 25 正答率 29.4 | C1 |
| (数) | (言語) | | | A | B | C | | |
| | | | 知識・理解思考 | | | 論理的思考 | | 創造的思考 |
| | | | 知識・理解 | | | 応用・論理 | | 批判・創造 |

※この成績(思考コード)の見方は、4ページ目にございます。

育を受け、どのような力を身につけるのか」が、わが子の将来にとってかつてないほど重要な意味を持つ時代になったのだ。

「統一合判」をはじめとした各模試や、多様な私立中入試で問われる力を「思考コード」で読み解く

ここで、2016年から首都圏模試センターの模試に導入され、2017年度からは個々の受験

実際の入試や模試の問題（適性検査をはじめ、私立中の適性検査型・総合型入試、思考力テスト）で主に出题される問題も「思考コード」に当てはめて分類・分析することができる

最難関模試 ⇔ 御三家&難関校

| | | | | | |
|------|------|------|---------|-------|-------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | A3 | B3 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリ | 複雑 2 | A2 | B2 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | A1 | B1 | C1 |
| (数) | (言語) | | A | B | C |
| | | | 知識・理解思考 | 論理的思考 | 創造的思考 |
| | | | 知識・理解 | 応用・論理 | 批判・創造 |

思考力テスト

| | | | | | |
|------|------|------|---------|-------|-------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | A3 | B3 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリ | 複雑 2 | A2 | B2 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | A1 | B1 | C1 |
| (数) | (言語) | | A | B | C |
| | | | 知識・理解思考 | 論理的思考 | 創造的思考 |
| | | | 知識・理解 | 応用・論理 | 批判・創造 |

統一合判 ⇔ 中学受験スタンダード

| | | | | | |
|------|------|------|---------|-------|-------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | A3 | B3 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリ | 複雑 2 | A2 | B2 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | A1 | B1 | C1 |
| (数) | (言語) | | A | B | C |
| | | | 知識・理解思考 | 論理的思考 | 創造的思考 |
| | | | 知識・理解 | 応用・論理 | 批判・創造 |

公立一貫模試 ⇔ 適性検査型・総合型

| | | | | | |
|------|------|------|---------|-------|-------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | A3 | B3 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリ | 複雑 2 | A2 | B2 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | A1 | B1 | C1 |
| (数) | (言語) | | A | B | C |
| | | | 知識・理解思考 | 論理的思考 | 創造的思考 |
| | | | 知識・理解 | 応用・論理 | 批判・創造 |

「たとえばどんな問題？」……フランシスコ・ザビエルを題材にした「思考コード」の各領域の出題例

| | | | | | |
|------|-------|------|--|---|--|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選び年代の古い順に並べなさい。 A3 | キリスト教の日本伝来は、当時の日本にどのような影響を及ぼしたのか、200字以内で説明しなさい。 B3 | もしあなたが、ザビエルのように知らない土地に行つて、その土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますが、600字以内で答えなさい。 C3 |
| 複雑操作 | カテゴリー | 複雑 2 | ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選びなさい。 A2 | キリスト教を容認した大名を一人あげ、この大名が行ったこと、その目的を100字以内で説明しなさい。 B2 | もしあなたが、ザビエルだとしたら、布教のために何をしますか。具体的な根拠と共に400字以内で説明しなさい。 C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | (ザビエルの写真を見て) この人物の名前を答えなさい。 A1 | ザビエルが日本に来た目的は何ですか？50字以内で書きなさい。 B1 | もしあなたが、ザビエルの布教活動をサポートするとしたら、ザビエルに対してどのようなサポートをしますか。200字以内で説明しなさい。 C1 |
| (数) | (言語) | | A 知識・理解思考 知識・理解 | B 論理的思考 応用・論理 | C 創造的思考 批判・創造 |



生の成績表にも出力（掲載）されるようになった「思考コード」（P17～20ページ）についてご紹介しておきたい。

この「思考コード」は、それぞれの模試で出題される個々の問題ごとに「問われる力」を、下の表のように分類し（作問の段階でそれぞれの問題が問う力を、この「思考コード」に基づ

いて設計し）、それぞれの領域（升目）の力ごとの正答率や偏差値を算出して、受験生一人ひとりの強みや弱点（課題）などの学力特性を表す形で成績表にも表現したものだ。そして首都圏模試センターではこれを、「立体偏差値」とも呼んでいる。

詳しい説明をするには誌面が足りないが、こ

こでは、例月の「統一合判模試」の問題や、難関私立中の（難易度の高い）入試問題、公立中高一貫校の「適性検査」問題、私立中の「思考力入試」で問われる範囲を示した図を18ページにご紹介しておこう。

比べてご覧いただくと、それぞれの入試（模試）タイプで問われる力の範囲が、かなり明確に異なっていることが

首都圏模試センターの「思考コード」で多様な中学入試の思考のレベルの特徴を知る

首都圏模試も偏差値以外の評価軸

| | | | | | |
|------|-------|------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 変換操作 | 全体関係 | 変容 3 | A3 | B3 | C3 |
| 複雑操作 | カテゴリー | 複雑 2 | A2 | B2 | C2 |
| 手順操作 | 単純関係 | 単純 1 | A1 | B1 | C1 |
| (数) | (言語) | | A 知識・理解思考 知識・理解 | B 論理的思考 応用・論理 | C 創造的思考 批判・創造 |



特集 これが合格へのカギになる！

2018年入試の変化のもとで、チャンスを生かす受験校の選び方

理解できるだろう。

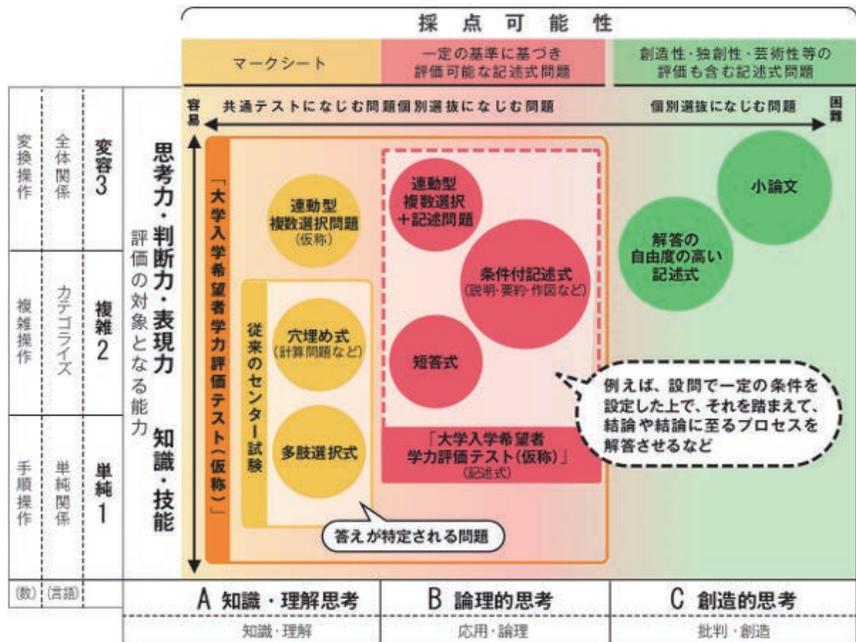
たとえば、公立中高一貫校の「適性検査」や、私立中の「思考力入試」では、たて列の「A領域（＝知識・理解）」の力が問われるのではなく、「B領域（＝応用・論理）」や、学校によっては「C領域（＝批判・創造）」の力が問われることになる。

そこにチャレンジする受験生（受験生）としては、それぞれの入試に挑むための学習の仕方や学力観も、一般的な私立中入試とは異なるものとして理解しておくが良い。

この「思考コード（＝立体偏差値）」と、それぞれの領域に当てはまる出題を、多くの日本人が知っているフランシスコ・ザビエルを題材に例示したものが19ページの上段の表だ。このような形でご覧いただくと、イメージもしやすくなることと思う。

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」とそれら进行评估する方法のイメージ例(たたき台)を「思考コード」と重ねた図

平成 27年 12月 22日
高大接続システム改革会議・配布資料



2020年以降の新たな大学入試にもつながる「適性検査」・「適性検査型」問題を解く力

さらに「2020年大学入試改革」を節目に大きく変わる今後の大学入試で問われる力を、この首都圏模試センターの「思考コード」にあてはめると（上の図）、文部科学省が示している図と、ぴったりと重なる。

つまり、公立中高一貫校の「適性検査」の出題や、私立中の「適性検査型入試」、さらには「思考力入試」をはじめとした多様なスタイルの入

試が問う力は、まさに、いまの小学生が5年目以降の当事者となる、今後の新たな大学入試で問われる力ということになる。

そういう意義も知っていただいたうえで、今後の受験勉強や日常の学習を進めていただくと、お子さんの7年後の大学入試と、その先の社会でも役立つ力を、この過程で育てていくことにつながるものが理解でき、今後の学習の励みになるのではないだろうか。



2019年入試に向けて、さらに多様化する私立中の新タイプ入試

～来春2019年入試で実施（新設や入試日変更を含む）される新タイプ入試の例（一部抜粋）～

ここでは、来春入試で実施される、私立中の新たなタイプの入試のなかから、新設入試や入試日変更などのあった入試について、一部を抜粋してご紹介したい（1校で複数の新タイプ入試を実施する学校は、原則としてそのうち1回を紹介）。

●静岡聖光学院は21世紀型入試を、聖ドミニコ学園はアクティブラーニング型入試を新設！

たとえば、この1～2年で注目度を増した聖学院の「ものづくり思考力入試」は、来春は2/1PMに入試日を変更。今春2018年に新設されて、単独の英語入試では最多の志願者を集めた共立女子の「インタラクティブ（英語インタラクティブ・トライアル）入試」は、2/3PMから2/3AMに時間帯を変更。入れ替わりで「合科型論述入試」を2/3PMに実施する。

男子校では静岡聖光学院が「21世紀型入試（思考力入試）」を新設する。

女子校では、光塩女子学院が第1回「総合型入試」をさらに定員増。女子聖学院は「アサーティブ入試」を新設。聖ドミニコ学園、東京家政学院は、首都圏の女子校では初めて「アクティブラーニング型入試」を新設する。桐朋女子は「Creative English入試（英語入試）」を新設。

文京学院大学女子中の「思考力入試」や「IEE（英語活動）入試」もユニークだ。相模女子大学中は、神奈川では初めての「プログラミング入試」を新設する。この表には紹介していないが、聖和学院も各種のユニークな入試を実施する。

共学校では、駒込が「特色入試（STEMか自己表現）」を新設。聖徳学園の「アピール入試（プログラミングかコミュニケーション英語）」もユニークな試みだ。来春2019年に新キャンパスで中高が開校するドルトン東京学園は「思考力入試」を実施。教育内容を「刷新」して中学募集に力を入れる八王子実践も「自己表現か英語」入試を新設する。やはり来春2019年から共学化する武蔵野大学中は、右の表にある「思考力入試」のほか、「適性検査型入試」も新設すると、9月初旬に公表している。神奈川では湘南学園が新設する「湘南学園 ESD 入試」にも注目したい。



首都圏の男子校としては、静岡聖光学院の「思考力入試」が、聖学院に続いて2校目の「思考力入試」を導入校となる。写真は同校の図書室。

| 学校名（入試名） | 2019年入試日 | 科目 |
|----------------------------|-------------|--|
| ● 聖学院(ものづくり思考力) | 2/2AM→2/1PM | レゴブロック作品作りと記述 |
| ● 静岡聖光学院(21世紀型入試) | 新設 1/12PM | 思考・表現・創造を問う問題 |
| ● 神田学園(新思考力型) | 2/6AM→2/3PM | 筆記思考力型問題 |
| ● 共立女子(2/3インタラクティブ入試) | 2/3PM→2/3AM | 算数筆記と英語(カタカナ/トイ) |
| ● 共立女子第二(3回PM(中)入試) | 新設 2/4PM | 理科実験とレポート作成・発表 |
| ● 光塩女子学院(第1回) | 2/1 | 国算基礎、総合型、募集約25→約30名 |
| ● 佼成学園女子(第3回AM(中)入試) | 新設 2/3 | 英語か算数かアプレ |
| ● 駒沢学園女子(第1回午前[アプレ]) | 新設 2/1 | 自己アプレ、アプレ/アプレ |
| ● 昭和女子大学附属昭和(思考力総合(本科コース)) | 新設 2/1PM | 思考力総合 I、II |
| ● 女子聖学院(アサーティブ入試) | 新設 2/2 | 思考力、思考表現力(作文を含む) |
| ● 聖ドミニコ学園(第4回) | 新設 2/4 | アプレ/ラング <アプレ/ラング>発表など(予定) |
| ● 東京家政学院(2/10AM入試) | 新設 2/10 | *アプレ/ラング |
| ● 東京女子学園(英語②入試) | 新設 2/2 | 1科<英語/ラング>、2科<英語> |
| ● 桐朋女子(Creative English) | 新設 2/1PM | 英語<課題と自己表現> |
| ● 富士見丘(英語特別入試 2/2PM) | 新設 2/2PM | 2科<英語、国語>か英語、算数 |
| ● 文京学院大学女子(思考力入試B日程) | 新設 2/4 | *思考力か自己アプレ/アプレ |
| ● 文京学院大学女子(IEE入試A) | 新設 2/1PM | *英語活動 |
| ● 和洋九段女子(第5回[本科]入試) | 新設 2/5 | 適性検査か英語コミュニケーション |
| ● 北鎌倉女子学園(普通コース 日本語4技能①) | 新設 2/2 | 聞く力・書く力・読む力・話す力 |
| ● 相模女子大学(第1回) | 新設 2/1 | 2科か4科→2科かアプレ/ラング |
| ● 清泉女子学院(3期[3科]) | 新設 2/3PM | 3科<国語、算数、英語> |
| ● 大妻嵐山(みらい力:1教科型) | 新設 1/11PM | 1科<英語か算数> |
| ◎ 駒込(第4回-特色入試(国際先進コース)) | 新設 2/2PM | *STEMか自己表現 |
| ◎ 聖徳学園(アピール入試) | 新設 2/2 | アプレ/ラングかコミュニケーション/英語 |
| ◎ 東京都市大学等々力(英語1教科入試) | 新設 2/4(予定) | 1科<英語>(予定) |
| ◎ ドルトン東京学園(一般入試 第1回) | 新設 2/1 | 2科か4科か思考力 |
| ◎ 八王子実践(第2回) | 新設 2/2 | 自己表現か英語 |
| ◎ 宝仙学園共学部(第1回AAA入試) | 新設 2/1PM | 日本語/ラングとアプレ/ラング |
| ◎ 三田国際学園(第4回-アプレ/ラング) | 新設 2/3PM | 2科<算数、理科> |
| ◎ 武蔵野(第2回アプレ) | 新設 2/2 | 1科<国/算>とアプレ/ラング/ラング |
| ◎ 武蔵野大学(思考力入試) | 新設 2/2PM | 未定 |
| ◎ 武蔵野東(未来探究型①) | 新設 2/1(予定) | 資料作成とアプレ/ラング(予定) |
| ◎ 目白研心(次世代スキル入試) | 新設 2/1PM | 次世代スキル<適性検査対応型> |
| ◎ 湘南学園(湘南学園 ESD 入試) | 新設 2/1 | 記述・論述と動画<事前提出> |
| ◎ 横浜翠陵(英語入試 2/1) | 新設 2/1 | 2科<英語、国語>か英語、算数 |
| ◎ 横浜隼人(適性検査型・自己アプレ) | 新設 2/2PM | 計算・自己アプレ/ラング |
| ◎ 横浜富士見丘学園(第1回) | 2/1 | 2科<国算英より選択>か4科 →2科か4科か英語2科<国英か英算> |
| ◎ 昭和学院(アプレ/ラング/ラング/ラング入試) | 新設 1/21PM | 自己表現文とアプレ/ラング/ラング/ラング |
| ◎ 麗澤(第3回-AEコース) | 新設 1/27PM | 2科<基礎>と「観察」表現力テスト |
| ◎ 聖望学園(第4回-アプレ/ラング) | 新設 1/18 | アプレ/ラング |
| ◎ 武南(第1回AM[適性]) | 新設 1/10(予定) | 適性検査型(予定) |
| ◎ 細田学園(dots入試 第1回[適性]) | 新設 1/10(予定) | 適性検査 I、II、IIIか I、II、III+グループワーク面接(予定) |
| ◎ 茗溪学園(英語資格入試 第2回) | 新設 1/13 | 2科 |

●=男子校、●=女子校、◎=共学校。表中のデータは8月中旬調べ。